

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称 (日本語)	EX クリーナー
供給者の会社名	株式会社タナカクリーン商事
住所	大阪府堺市西区山田二丁 25 番地の 1
電話番号	072-271-3662
ファックス番号	072-271-3680
推奨用途	床用洗浄剤
使用上の制限	所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	—
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分 1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性) 区分 2 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 (H314)
重篤な眼の損傷 (H318)
水生生物に毒性 (H401)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き

安全対策

ミスト／スプレーを吸入しないこと。(P260)

	取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 (P301+P330+P331)
	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353)
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)直ちに医師に連絡すること。(P310)
保管	直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管すること。
廃棄	内容物を都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、廃棄 物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を 厳守し、適正に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学物質・混合物名称	EX クリーナー
化学物質・混合物一般名称	洗剤
成分及び濃度又は濃度範囲	
組成物質 (1)	水（非公開）（CAS RN : 7732-18-5）
組成物質 (2)	非イオン系界面活性剤（非公開）（CAS RN : 非公開）
組成物質 (3)	オレイン酸（非公開）（CAS RN : 非公開）
組成物質 (4)	陰イオン系界面活性剤（非公開）（CAS RN : 非公開）
組成物質 (5)	アルカリ性成分（非公開）（CAS RN : 非公開）
組成物質 (6)	染料（非公開）（CAS RN : 非公開）
組成物質 (7)	メタケイ酸ナトリウム 9 水和物（8.5%）（CAS RN : 13517-24-3）
組成物質 (8)	エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム（1.0%）（CAS RN : 64-02-8）
組成物質 (9)	トリナトリウム=2,2',2"-ニトリロトリアセート（0.9%）（CAS RN : 5064-31-3）
組成物質 (10)	（4R）-パラ-メンタ-1,8-ジエン（別名：d-リモネン）（0.1%）（CAS RN : 5989-27-5）

官報公示整理番号（化審法）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム（1.0%）（CAS RN : 64-02-8）；化審法官報整理番号（2-1265）【エチレンジアミン四酢酸塩（Na, Al, K, Ca, Mg）】
 トリナトリウム=2,2',2"-ニトリロトリアセート（0.9%）（CAS RN : 5064-31-3）；化審法官報整理番号（2-1277）【ニトリロ三酢酸アルカリ塩（Na, K）】
 （4R）-パラ-メンタ-1,8-ジエン（別名：d-リモネン）（0.1%）（CAS RN : 5989-27-5）；化審法官

報整理番号 (3-2245) 【リモネン】；化審法官報整理番号 (8-498) 【d l -リモネン】；化審法官報整理番号 (7-988) 【ジペンテン】

官報公示整理番号 (安衛法)

(4R) -パラ-メンタ-1,8-ジエン (別名：d-リモネン) (0.1%) (CAS RN : 5989-27-5) ; 安衛法官報整理番号 (3-(4)-187 (3-(4)-222) (3-(4)-202)) 【c i s - 1 -メチル- 4 -イソプロペコル- 1 -シクロヘキセン (d -リモネン) (1 , 8 - p -メンタジエン) 】

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。水でよく口の中を洗浄すること。必要に応じて医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水及び石鹼で洗い流すこと。症状が出た場合は必要に応じて医師の診断を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄すること。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはいけなし、吐かせようとしてもいけない。気分が悪いときは医師の診断を受けること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救護者はゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水、等。
使ってはならない消火剤	なし。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので消火作業の際には煙の吸入を避けること。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。関係者以外は安全な場所に退避させること。周囲の設備などに散水して冷却すること。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具	適切な保護具 (手袋、眼鏡) を着用すること。
消火活動を行う者の予防措置	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避けること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- 人体に対する保護具 作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。
- 人体に対する緊急時措置 多量の場合、人を安全な場所に退避させること。必要に応じた換気を確保すること。

環境に対する注意事項

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材・材料 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取り、大量の水で洗い流すこと。
- 多量の場合、人を安全な場所へ退避させ、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収すること。
- 二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備すること。火花が発生しない安全な用具を使用すること。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意すること。漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い_技術的対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
- 取り扱い_安全取扱注意事項 スプレーを吸入しないこと。
- 作業の換気を十分行うこと。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意すること。
- 取り扱い_接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 取り扱い_衛生対策 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
- 保管_安全な保管条件 直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管すること。保管温度は0～30℃が望ましい。
- 保管_安全な容器包装材料 本剤の小分け容器には、ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用すること。鉄、アルミ製容器は避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 設定されていない。
- 管理濃度 設定されていない。
- 設備対策 蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置すること。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
- 呼吸用保護具 通常の手扱いは特に必要ない。状況に応じて適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 不浸透性（耐薬品、耐油）保護手袋を着用すること。
- 目、顔面の保護具 側板付き保護眼鏡（必要に応じてゴーグル型又は全面）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣、ゴム長靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	青色
臭い	柑橘系臭
融点・凝固点	-5℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲	100.0 ℃
可燃性	情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし。
引火点	情報なし。
自然発火点	情報なし。
分解温度	情報なし。
pH	13.0～14.0 (原液)
動粘性率	情報なし。
溶解度	水と任意に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	情報なし。
蒸気圧	情報なし。
比重	1.056±0.005 (20℃)
相対ガス密度	情報なし。
粒子特性	情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性無し。酸性物質とは中和反応により発熱する。
化学的安定性	通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	鉄、アルミ等は腐食するので接触を避ける。
避けるべき条件	性能上問題ないが、紫外線による退色のおそれあり。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：情報なし

成分の有害性情報

急性毒性（経口）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（経皮）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：気体）	GHS 定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	区分 1 のメタケイ酸ナトリウム 9 水和物が 8.5% \geq 1%のため、区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1 のメタケイ酸ナトリウム 9 水和物が 8.5% \geq 1%のため、区分 1 とした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1.2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	(毒性乗率 \times 10 \times 区分 1)+区分 2 が 71.5%であり、濃度限界（25%）以上のため、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	(毒性乗率 \times 100 \times 区分 1)+(10 \times 区分 2)+区分 3 が 68.0%であり、濃度限界（25%）以上のため、区分 3 とした。
生態毒性	データなし。
残留性	データなし。
分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

1.3. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物（化学品）	焼却する場合、関連法規・法令を厳守すること。廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、
------------	--

適正に処分すること。
 汚染容器及び包装 空容器は、内容物を完全に除去してから廃棄、若しくは洗浄してリサイクルすることが望ましい。

1.4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 3 2 6 7
 品名 (国連輸送名) その他の腐食性液体
 国連分類 (危険有害性クラス) クラス 8 (腐食性物質)
 国連分類 (危険有害性クラス : 副次危険) -
 容器等級 III

国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報 船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。
 航空規制情報 航空法に定められている輸送方法に従うこと。
 陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従うこと。

緊急時応急措置指針番号 153

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

1.5. 適用法令

労働安全衛生法

メタケイ酸ナトリウム 9 水和物 (8.5%) (CAS RN : 13517-24-3) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (規則別表第 2 の 2001) 【メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物】 ; 不浸透性保護具使用義務物質【メタケイ酸ナトリウム 9 水和物】、区分【皮膚刺激性有害物質】

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム (1.0%) (CAS RN : 64-02-8) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (規則別表第 2 の 275) 【エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム】

トリナトリウム=2,2',2''-ニトロトリアセタート (0.9%) (CAS RN : 5064-31-3) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (規則別表第 2 の 1468) 【ニトロ三酢酸三ナトリウム】

(4R) -パラ-メンタ-1,8-ジエン (別名 : d-リモネン) (0.1%) (CAS RN : 5989-27-5) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (規則別表第 2 の 2220) 【d-リモネン】 ; 不浸透性保護具使用義務物質【(4R) -パラ-メンター-1, 8-ジエン (別名 d-リモネン)】、区分【皮膚刺激性有害物質】

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム (1.0%) (CAS RN : 64-02-8) ; 第一種 政令番号 (1-080) 管理番号 (595) 【エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩】

トリナトリウム=2,2',2''-ニトリロトリアセタート (0.9%) (CAS RN : 5064-31-3) ; 第一種 政令番号 (1-356) 管理番号 (698) 【ニトリロ三酢酸及びそのナトリウム塩】

毒物及び劇物取締法

その他の国内法令

(4R) -パラ-メンタ-1,8-ジエン (別名 : d-リモネン) (0.1%) (CAS RN : 5989-27-5) ; 大防法・揮発性有機化合物 (VOC) (法第 2 条第 4 項) 【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)】 ; 消防法・危険物 類別 性質【第 4 類 引火性液体】、品名【第二石油類】

16. その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) (経済産業省)

GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度 (厚生労働省)

NITE-Gmiccs (独立行政法人製品評価技術基盤機構)

NITE-CHRIP (独立行政法人製品評価技術基盤機構)

[免責]

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。